

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite T1530SR
ProLite T1730SR
ProLite T1930SR

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- タッチスクリーンモニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

組立

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！		
	ご使用の際 このようなことは ありませんか ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。 ●キャビネットが異常に熱い。 ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。 ●使用中に異常な音や振動などがある。 ●その他の異常や故障がある。	⇒ ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご相談ください。

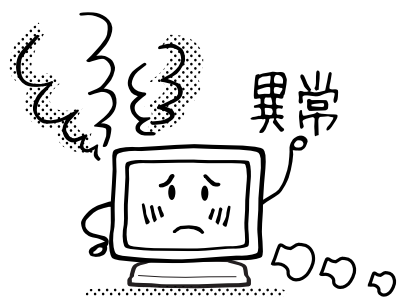
もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
特長	5
タッチパネルについて	5
標準付属品	6
壁かけでご使用する場合	6
各部のなまえ	7
コンピュータとの接続	8
コンピュータの設定	9
パネルの角度調節	9
操作手順	10
調整メニューの内容	11
画面の調整	14
パワーマネージメント機能	16
故障かなと思ったら	17
クリーニング	18
アフターサービス	19
保証書／保証期間について	19
修理サービス	19
リサイクル／廃棄について	19
付録	20
一般仕様：ProLite T1530SR	20
一般仕様：ProLite T1730SR	21
一般仕様：ProLite T1930SR	22
外形寸法図	23
対応信号タイミング	24

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

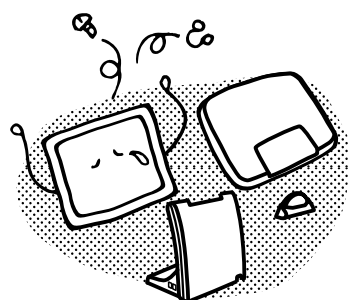
⚠ 警告



プラグを
抜く

万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご依頼ください。



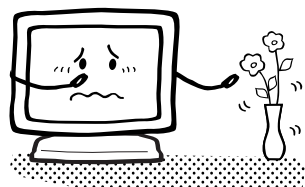
禁止



プラグを
抜く

異物を入れない

タッチスクリーンモニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。



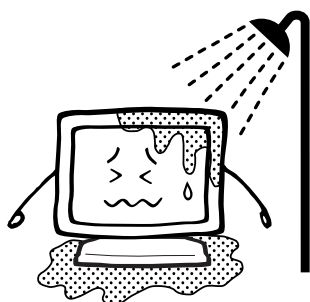
禁止



プラグを
抜く

花びんやコップをタッチスクリーンモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をタッチスクリーンモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。

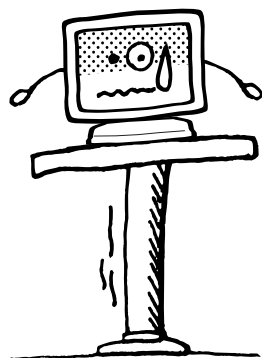


水場での
使用禁止

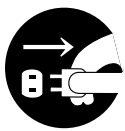
水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

不安定な場所に置かない



禁止



プラグを
抜く



指示に従う

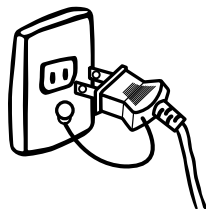
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、タッチスクリーンモニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

タッチスクリーンモニタ表示面のガラスが割れた場合には、ガラスの破片でケガをしないように充分注意してください。

また、タッチスクリーンモニタ表示面から漏れた液体（液晶）には触れないでください。万一液晶が目や口、皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに大量の流水で15分以上洗浄してください。飲み込んでしまった場合は、すぐに口をよく洗浄し、大量の水を飲ませてから吐き出させ、その後医師の手当てを受けてください。そのまま放置すると中毒を起こす恐れがあります。

電源コードのアースリードを接地する



アースを
接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、タッチスクリーンモニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。コードが傷んだらすぐに販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付に交換をご依頼ください。

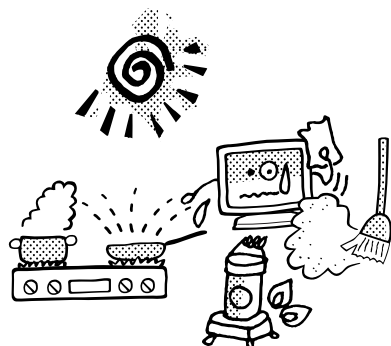
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

⚠ 注意

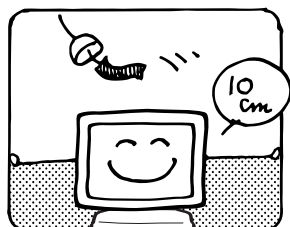


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



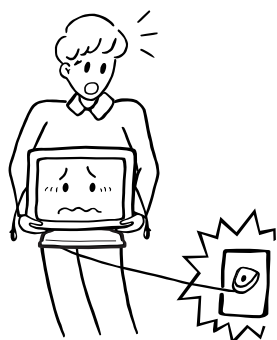
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

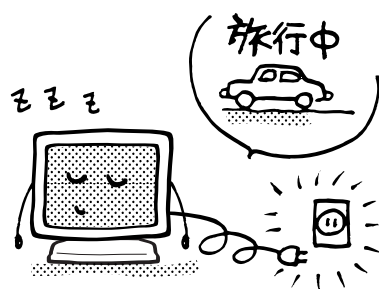
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、タッチスクリーンモニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

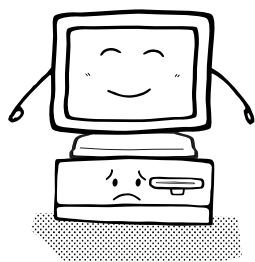
移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- タッチスクリーンモニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善していきますが、改善されないまま前の画像パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
 - ・ 画面の表示パターンを変える。
 - ・ 数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付までお問い合わせください。
- タッチパネルと液晶パネルの間で結露が発生することがありますが、自然現象であり異常ではありません。製品全体を徐々に暖めると自然と消えますが、結露した状態での使用は故障の原因となりますので使用しないでください。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。

特長

- ◆ ProLite T1530SR : 38センチ (15.0インチ) TFTカラー液晶モニタ 抵抗膜方式
- ◆ ProLite T1730SR : 43センチ (17.0インチ) TFTカラー液晶モニタ 抵抗膜方式
- ◆ ProLite T1930SR : 48センチ (19.0インチ) TFTカラー液晶モニタ 抵抗膜方式
- ◆ ProLite T1530SR / T1730SR / T1930SR : USB / RS-232C接続タイプ
- ◆ ProLite T1530SR : 最大1024×768モードをサポート
- ◆ ProLite T1730SR / ProLite T1930SR : 最大1280×1024モードをサポート
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応、Windows® 95/98/2000/Me/XP/Vista対応
- ◆ パワーマネージメント機能搭載
- ◆ ProLite T1530SR :
VESAマウント規格 (75mm×75mm) 対応 : アーム取り付け・壁掛け可能
- ◆ ProLite T1730SR / ProLite T1930SR :
VESAマウント規格 (100mm×100mm) 対応 : アーム取り付け・壁掛け可能
- ◆ ステレオスピーカー搭載

タッチパネルについて

刃の鋭いもの、先のとがったものや金属を使ってタッチ動作をすると、画面に傷をつけることがあります。

この傷は、保証期間内でも保証の対象になりませんので、ご注意ください。

先端がプラスチック製 (半径0.8mm以上) のものか指を使ってタッチすることをお奨めいたします。

標準付属品

タッチスクリーンモニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

付属品 \ ProLite T	1530SR	1730SR 1930SR
ACアダプタ*1	○	
電源コード*1	○	○
D-SUB信号ケーブル	○	○
DVI-D信号ケーブル	○	○
RS-232Cケーブル	○	○
USBケーブル	○	○
オーディオケーブル	○	○
タッチスクリーン(タッチパネル) ドライバーディスク(CD-ROM)*2	○	○
セーフティガイド	○	○
クイックスタートガイド	○	○

補足 *1 1. 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合

■ 日本以外の国でお使いになる場合

サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

2. 付属の電源コード、ACアダプタは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

3. ACアダプタ 型名：LSE9901B1250

(LI SHIN INTERNATIONAL ENTERPRISE CORP.)

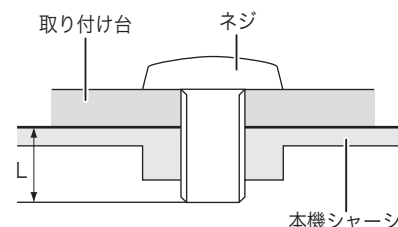
*2 タッチスクリーンのドライバーソフトが含まれています。RS-232CケーブルまたはUSBケーブルでモニタとコンピュータを接続後、インストールしてください。詳細はドライバーディスク内のReadmeファイルを参照してください。

壁かけで使用する場合



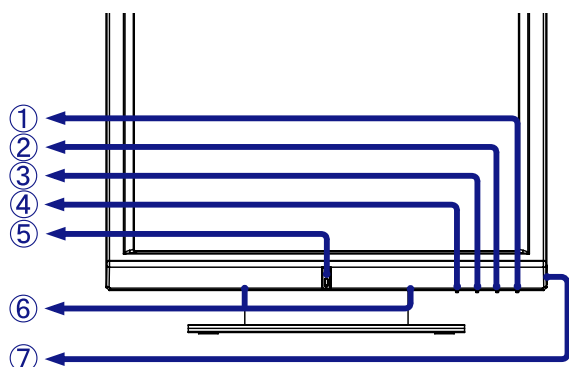
警告

壁かけで使用する場合は、取り付け台の厚さを考慮の上、L部の長さが6mmとなるM4ワッシャー付ネジを使用して、しっかりと固定してください。指定の長さを超えるネジを使用すると、タッチスクリーンモニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。

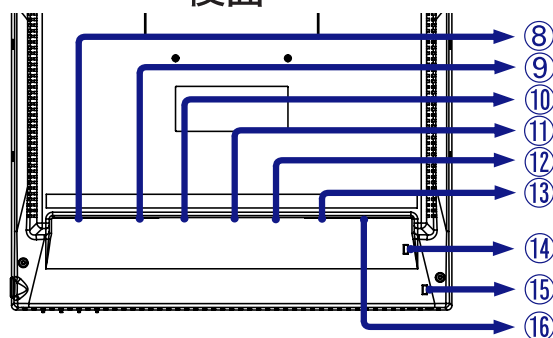


各部のなまえ

前面



後面



- ① ▲/メニューボタン (▲/MENU)
- ② ▼/明るさ調整ボタン (▼/☀)
- ③ プラス/音量調整ボタン (+/🔊)
- ④ マイナス/入力切替ボタン (-/INPUT)

補足 メニュー画面を表示していない時に、入力切替ボタンを押すとメニューが表示され、D-SUB入力とDVI入力の切替を行うことができます。

- ⑤ 電源インジケータ

補足 緑色点灯：通常動作時
 橙色点灯：パワーマネージメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります。

- ⑥ スピーカー

- ⑦ 電源スイッチ (🔌)

補足 電源スイッチを長押しすると電源がオフになります。

- ⑧ ACアダプタ接続コネクタ (DC-in)*¹
- ⑨ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB)
- ⑩ DVIケーブル接続コネクタ (DVI-D)
- ⑪ 音声入力コネクタ (AUDIO in)
- ⑫ USBケーブル接続コネクタ (🔌)
- ⑬ RS-232Cケーブル接続コネクタ (📡)
- ⑭ 盗難防止ロック用ホール*³

補足 ■ 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

- ⑮ 盗難防止ロック用ホール*⁴

補足 ■ 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

- ⑯ 電源コード接続コネクタ (AC in)*²

*¹ ProLite T1530SRのみ対応

*² ProLite T1730SR / ProLite T1930SRのみ対応

*³ ProLite T1530SR / ProLite T1730SRのみ対応

*⁴ ProLite T1930SRのみ対応

コンピュータとの接続

警告 ■安全のため、必ずアースリード（黄／黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

注意 ■信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとタッチスクリーンモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

① タッチスクリーンモニタおよびコンピュータの主電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをタッチスクリーンモニタとコンピュータに接続します。

補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ RS-232CケーブルまたはUSBケーブルを、タッチスクリーンモニタとコンピュータに接続します。

補足 RS-232Cケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

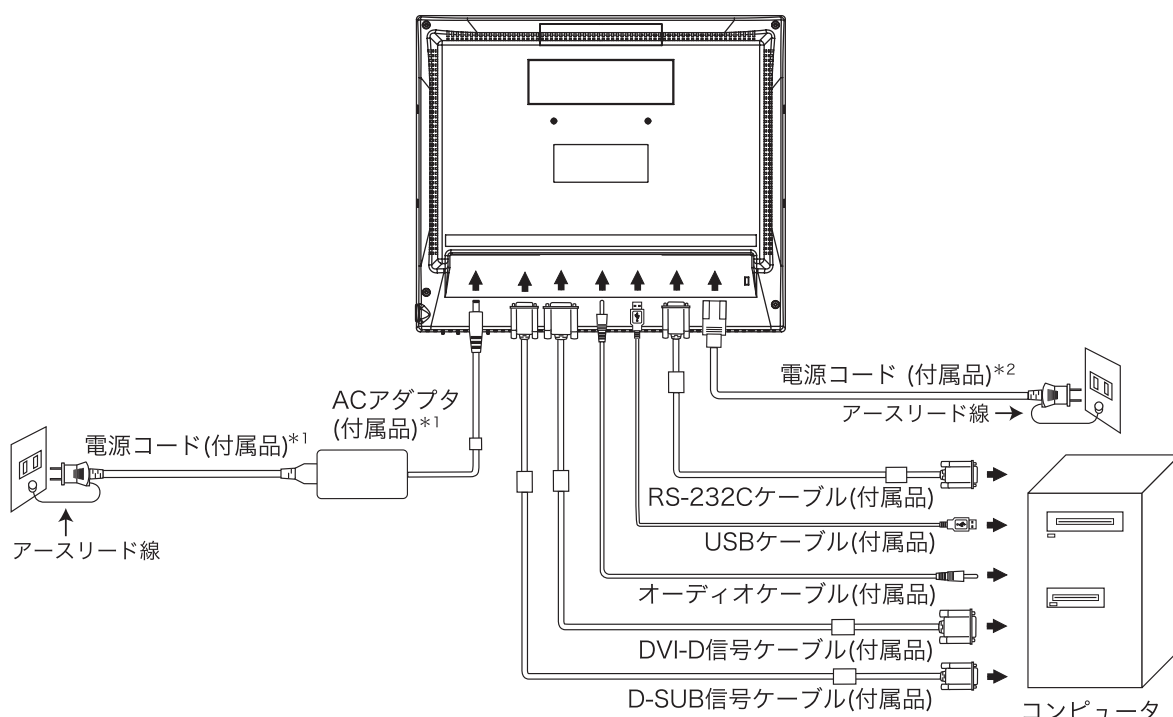
なお、RS-232CケーブルとUSBケーブルを同時に接続して使用することはできません。

④ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。

⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

[接続例]

< 後面 >



*1 ProLite T1530SRに付属。

*2 ProLite T1730SR / ProLite T1930SRに付属。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.24「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XP/Vistaプラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP/Vista上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。

■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

■ 電源投入時の順序

電源投入時の順序はタッチスクリーンモニタ、コンピュータの順に電源スイッチをONして起動してください。

■ ソフトウェアに関する注意事項

タッチしたままシステムを起動すると、タッチスクリーンのソフトウェアやシステムが起動できないことがあります。

コンピュータのBIOSによっては、パワーマネージメントを設定しているとタッチスクリーンのソフトウェアが動作しなくなる場合があります。そのようなときはパワーマネージメントの設定をOFFにしてください。

パネルの角度調節



注意

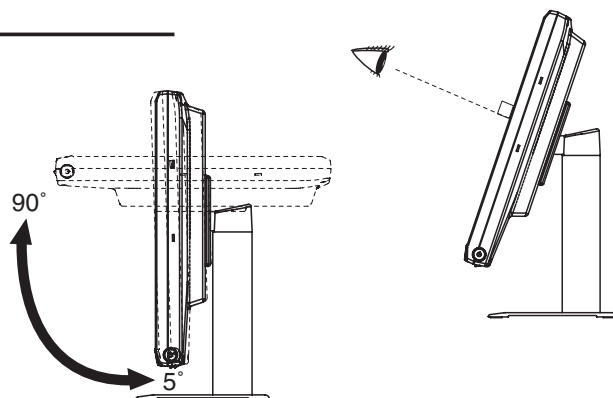
■ 調節の際、タッチスクリーン面を押さないでください。タッチスクリーンを破損し、最悪の場合、タッチスクリーンおよび液晶パネルが割れるおそれがあります。

■ 調節の際、スタンド可動部の隙間に指を入れないでください。ケガの原因となる場合があります。

■ タッチスクリーンモニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

■ 角度調節の際は、パネルの左右を持って行ってください。

■ 角度調節範囲は上方向90°、下方向5°です。

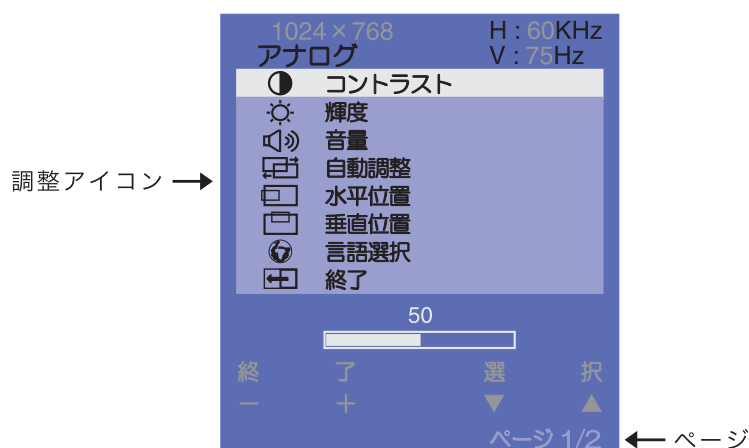


操作手順

P.24の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

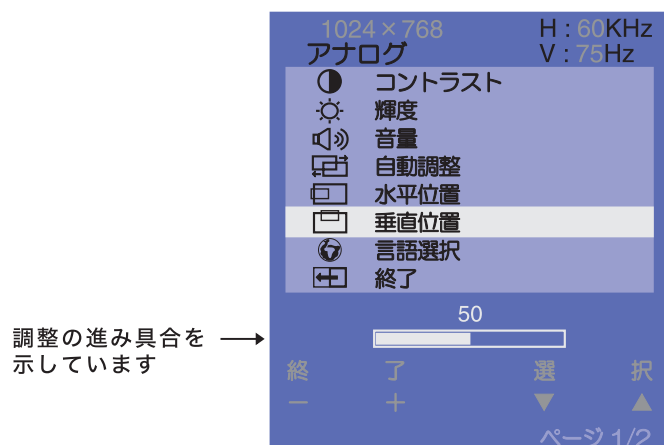
オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は日本語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

- ① メニューボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。▲/▼ボタンで調整したいアイコンへカーソルを移動します。



- ② プラス/マイナスボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直位置を調整したいときは、メニューボタンを押します。次に▲/▼ボタンで  (垂直位置) を選択し、プラス/マイナスボタンでお好みの画面に調整します。



補足

- 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- クロック、フェーズ、位置の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については、全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

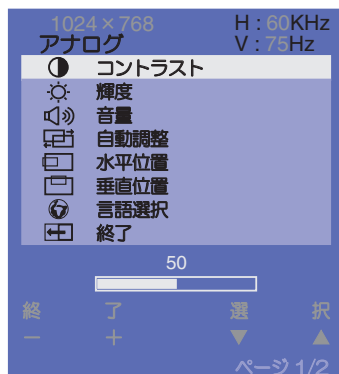
ダイレクト調整

● キーロックモード

モニタの電源がOFFの時に、▼ボタンを押しながら電源スイッチを押すとキーロックモードになり、調整がロックされます。モニタの電源をOFFにし、同じ操作を行うことにより解除することができます。

調整メニューの内容

ページ：1
アナログ入力



調整項目		画面の状態／調整ボタン			
 コントラスト CONTRAST	弱すぎる				
	強すぎる				
 輝度*1 BRIGHTNESS	暗すぎる				
	明るすぎる				
 音量 VOLUME	音量が小さい				
	音量が大きい				
 自動調整*2 AUTO TUNE		クロック,フェーズ,垂直ポジション,水平ポジションの4項目を自動で調整します			
補足 ■ 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。（約5秒） ■ 表示されているパターンにより精度が異なります。					
 水平位置 H-POSITION	 左によっている				
	 右によっている				
 垂直位置 V-POSITION	 下によっている				
	 上によっている				
 言語選択 LANGUAGE	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示	
	Deutsch	ドイツ語表示	繁體中文	中文繁体字表示	
	Francais	フランス語表示	简体中文	中文簡体字表示	
	Espanol	スペイン語表示	日本語	日本語表示	
	 RETURN TO MENU		メニュー画面に戻ります		
 終了 EXIT		終了します			

*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

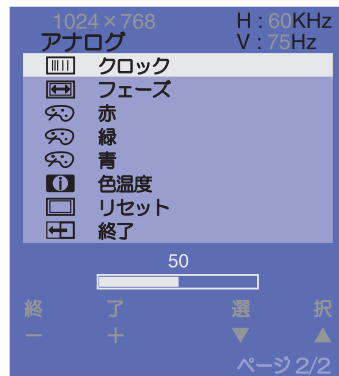
*2 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.14「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- 輝度：メニュー画面を表示していない時に、▼ボタンを押します。
- 音量：メニュー画面を表示していない時に、プラスボタンを押します。
- 消音：メニュー画面を表示していない時にプラスボタンを押し、更にプラスとマイナスボタンを同時に押します。解除するにはプラスボタンを押し、更にプラスボタンを押します。

ページ：2
アナログ入力



調整項目	画面の状態／調整ボタン	
 クロック CLOCK	模様や文字がにじんだり、ちらついている   	
 フェーズ PHASE	模様や文字がにじんだり、ちらついている   	
 赤 RED	弱すぎる   強すぎる  	
 緑 GREEN	弱すぎる   強すぎる  	
 青 BLUE	弱すぎる   強すぎる  	
 色温度 COLOR TEMP.	ウォーム	やや赤みがかったホワイト
	クール	やや青みがかったホワイト
	ノーマル	標準ホワイト
 リセット RESET	工場出荷設定に戻します	
 終了 EXIT	終了します	

ページ：1
デジタル入力



調整項目		画面の状態／調整ボタン			
 コントラスト CONTRAST		弱すぎる			
		強すぎる			
 輝度* BRIGHTNESS	ダイレクト調整	暗すぎる			
		明るすぎる			
 音量 VOLUME	ダイレクト調整	音量が小さい			
		音量が大きい			
 言語選択 LANGUAGE		English	英語表示	Italiano	イタリア語表示
		Deutsch	ドイツ語表示	繁體中文	中文繁体字表示
		Francais	フランス語表示	簡体中文	中文簡体字表示
		Espanol	スペイン語表示	日本語	日本語表示
		 RETURN TO MENU		メニュー画面に戻ります	
		 色温度 COLOR TEMP.	ウォーム	やや赤みがかったホワイト	
クール	やや青みがかったホワイト				
ノーマル	標準ホワイト				
 終了 EXIT		終了します			

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

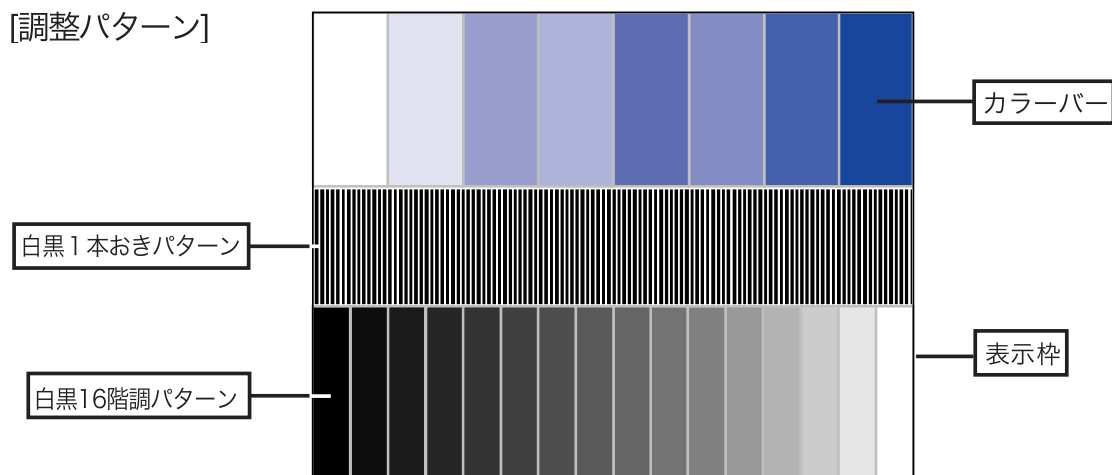
- 輝度：メニュー画面を表示していない時に、▼ボタンを押します。
- 音量：メニュー画面を表示していない時に、プラスボタンを押します。
- 消音：メニュー画面を表示していない時にプラスボタンを押し、更にプラスとマイナスボタンを同時に押します。解除するにはプラスボタンを押し、更にプラスボタンを押します。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- ProLite T1530SRに搭載されている液晶パネルは、1024×768の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1024×768未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1024×768の解像度でを使用することをおすすめします。
- ProLite T1730SR / ProLite T1930SRに搭載されている液晶パネルは、1280×1024の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1280×1024未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1280×1024の解像度でを使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

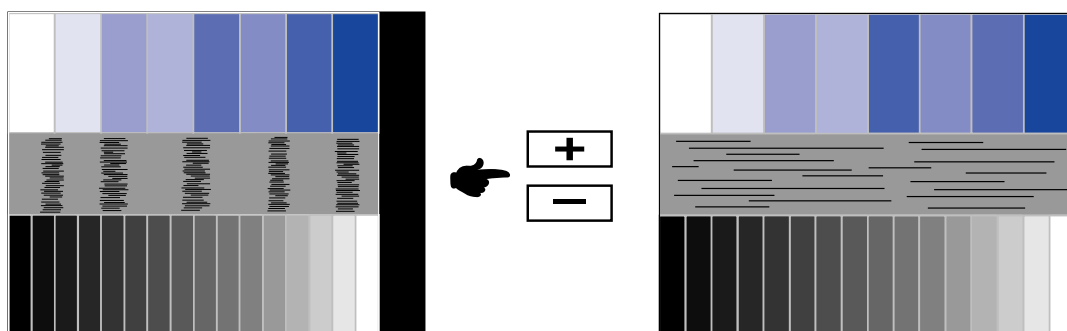
本製品には、画面の調整方法としてクロック、フェーズ、位置を自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。いずれも、弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XP/Vistaを基準に説明しています。

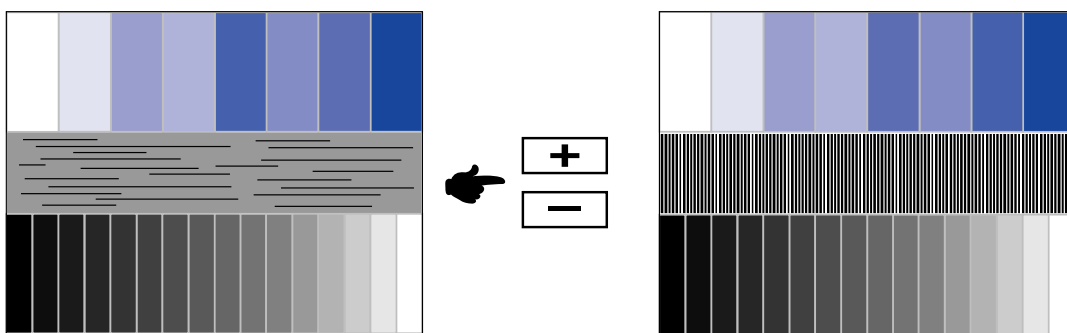
- ① 「画面調整プログラム」を起動します。
- ② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。



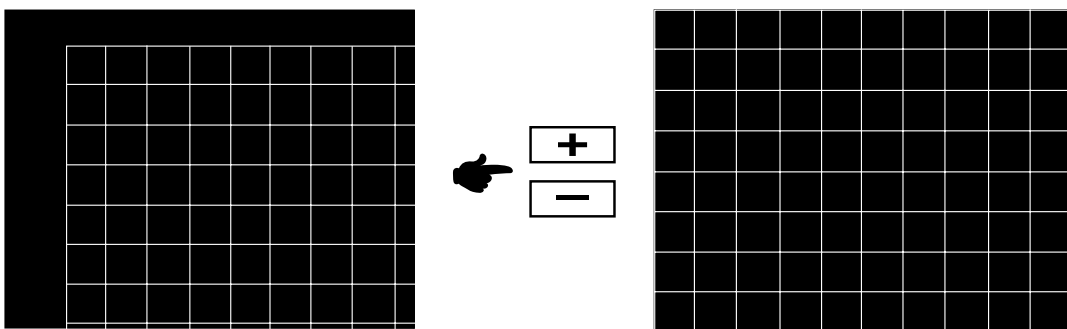
- ③ メニューから  (自動調整)を選択、実行します。
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- ⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- ⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直ポジション，水平ポジションにてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



補足

- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平位置を交互に調整してください。
- クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- クロック，垂直位置，水平位置を調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。
- フェーズを調整しても画面の一部にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。
- フェーズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平位置にて調整してください。

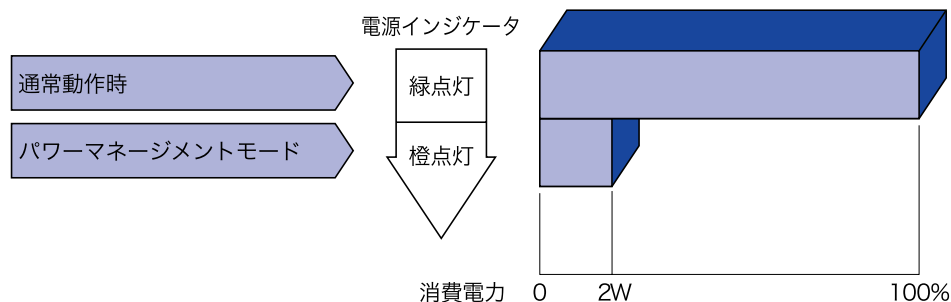
- ⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューの明るさ調整、コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
- 「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、VESA DPMSの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 2W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

- パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などタッチスクリーンモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。
- コンピュータによっては、パワーマネージメント動作時にタッチスクリーンをタッチしてもパワーマネージメントから復帰できない場合があります。そのようなときはコンピュータのパワーマネージメント機能をOFFにしてください。

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2.へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、タッチスクリーンモニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。

症状

チェックポイント

① 映像が出ない

(インジケータ点灯せず)

(インジケータ緑色)



(インジケータ橙色)

- ☐ 電源コードが確実に接続されていますか？
- ☐ 電源スイッチが「ON」されていますか？
- ☐ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
- ☐ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
- ☐ 明るさおよびコントラストが最小になっていませんか？
- ☐ コンピュータの電源は入っていますか？
- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ☐ パワーマネジメント状態ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
- ☐ コンピュータの電源は入っていますか？
- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

② 画面が乱れている



- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

③ 画面の位置が片寄っている



- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

④ 画面が明るすぎる／暗すぎる

- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑤ 画面が揺れる



- ☐ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

⑥ タッチスクリーンが反応しない

- ☐ RS-232CケーブルまたはUSBケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ タッチパネルドライバーソフトがインストールされていますか？

⑦ タッチ位置がずれる

- ☐ キャリブレーション（アライメント）は正しく行われていますか？

クリーニング



警告

- 万一、タッチスクリーンモニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。



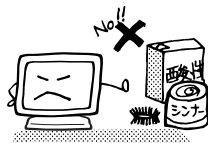
注意

- 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

- タッチスクリーン表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

- キャビネットやタッチスクリーンを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

- キャビネットやタッチスクリーンにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット

柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

タッチ スクリーン

定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が付く恐れがありますので、使用しないでください。汚れのひどい場合にはうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。（洗剤を直接タッチスクリーン表面にかけないでください。）

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より1年間です。
液晶パネルおよびバックライトの保証期限も1年間となります。
また、保証期間内でも有料修理とさせていただきます場合があります。詳しくは、保証書裏面の＜保証条件＞をご確認ください。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付へご連絡ください。
- 修理や点検のためタッチスクリーンモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、タッチスクリーンモニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず飯山リペアセンター サポート・修理受付までご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご相談ください。
- 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧ください。飯山リペアセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ
飯山リペアセンター リサイクル受付
TEL 0269-81-2072

付録

仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様 : ProLite T1530SR

機種名		ProLite T1530SR-1	ProLite T1530SR-2
タッチ スクリーン	方式	抵抗膜方式	
	表面処理(透過率)	アンチグレア(80%)	
	通信方式	USBシリアル転送またはRS-232Cシリアル転送	
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角 : 38cm / 15.0"	
	画素ピッチ	水平 0.297mm × 垂直 0.297mm	
	輝度	280cd/m ² (タッチパネル装着時)	200cd/m ² (タッチパネル装着時)
	コントラスト比	500 : 1 (タッチパネル装着時)	
	視野角	水平120° 上方向40° 下方向60°	
	応答速度	16ms (黒→白→黒, 標準)	8ms (黒→白→黒, 標準)
最大表示色		約1620万色	
走査周波数		水平 : 31.0~60.0kHz 垂直 : 60~75Hz	
ドットクロック		80MHz (最大)	
推奨最大解像度		1024 × 768	
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピン	
		DVI-D24ピン	
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応	
入力同期信号		セパレート同期 : TTL, 正極性/負極性	
入力映像信号		アナログ : 0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性 デジタル : DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠	
入力音声信号		0.7Vrms(最大)	
音声入力コネクタ		φ3.5mm ステレオミニジャック	
スピーカー		1W × 2(アンプ付きステレオスピーカー)	
最大表示範囲		水平 : 304.1mm 垂直 : 228.1mm	
入力電源		DC12V 4A	
消費電力		23W (最大) パワーマネージメントモード(VESA DPMS)時 : 2W (最大)	
外形寸法		351.0 (幅) × 314.5 (高) × 140.0 (奥行) mm	
重量		4.3kg (ACアダプタ含む)	
角度調節範囲		上方向90°, 下方向5°	
環境条件		動作時の温度 : 5~35°C 保管時の温度 : -20~60°C 湿度 (動作時) : 20~80% (結露なきこと) 湿度 (保管時) : 10~90% (結露なきこと)	
適合規格		CE, TÜV-SUD, FCC-B, UL / cUL, VCCI-B	CE, TÜV-SUD

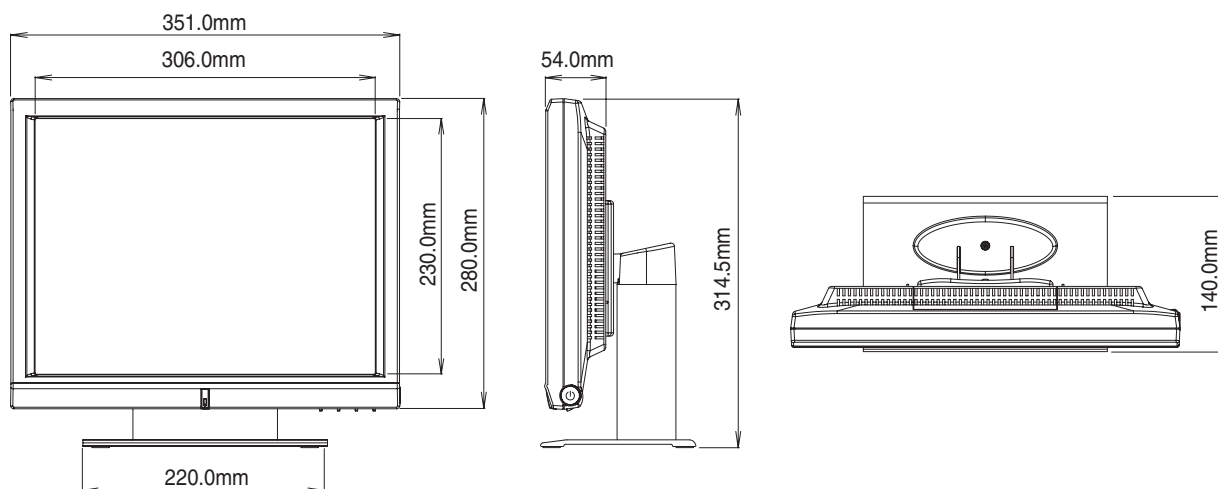
一般仕様 : ProLite T1730SR

機種名		ProLite T1730SR-1	ProLite T1730SR-2
タッチ スクリーン	方式	抵抗膜方式	
	表面処理(透過率)	アンチグレア(80%)	
	通信方式	USBシリアル転送またはRS-232Cシリアル転送	
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角 : 43cm / 17.0"	
	画素ピッチ	水平 0.264mm × 垂直 0.264mm	
	輝度	240cd/m ² (タッチパネル装着時)	
	コントラスト比	800 : 1 (タッチパネル装着時)	
	視野角	水平160° 垂直160°	
	応答速度	5ms (黒→白→黒, 標準)	
最大表示色		約1620万色	
走査周波数		水平 : 31.0~80.0kHz 垂直 : 60~75Hz	
ドットクロック		135MHz (最大)	
推奨最大解像度		1280 × 1024	
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピン	
		DVI-D24ピン	
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応	
入力同期信号		セパレート同期 : TTL, 正極性 / 負極性	
入力映像信号		アナログ : 0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性 デジタル : DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠	
入力音声信号		0.7Vrms(最大)	
音声入力コネクタ		φ3.5mm ステレオミニジャック	
スピーカー		1W × 2(アンプ付きステレオスピーカー)	
最大表示範囲		水平 : 337.9mm 垂直 : 270.3mm	
入力電源		AC100-240V 50-60Hz 1.5A	
消費電力		33W (最大)	
		パワーマネージメントモード(VESA DPMS)時 : 2W (最大)	
外形寸法		392.0 (幅) × 381.5 (高) × 180.0 (奥行) mm	
重量		6.6kg	
角度調節範囲		上方向90°, 下方向5°	
環境条件		動作時の温度 : 5~35°C	
		保管時の温度 : -20~60°C	
		湿度 (動作時) : 20~80% (結露なきこと)	
		湿度 (保管時) : 10~90% (結露なきこと)	
適合規格		CE, TÜV-SUD, FCC-B, UL / cUL, VCCI-B	CE, TÜV-SUD, VCCI-B

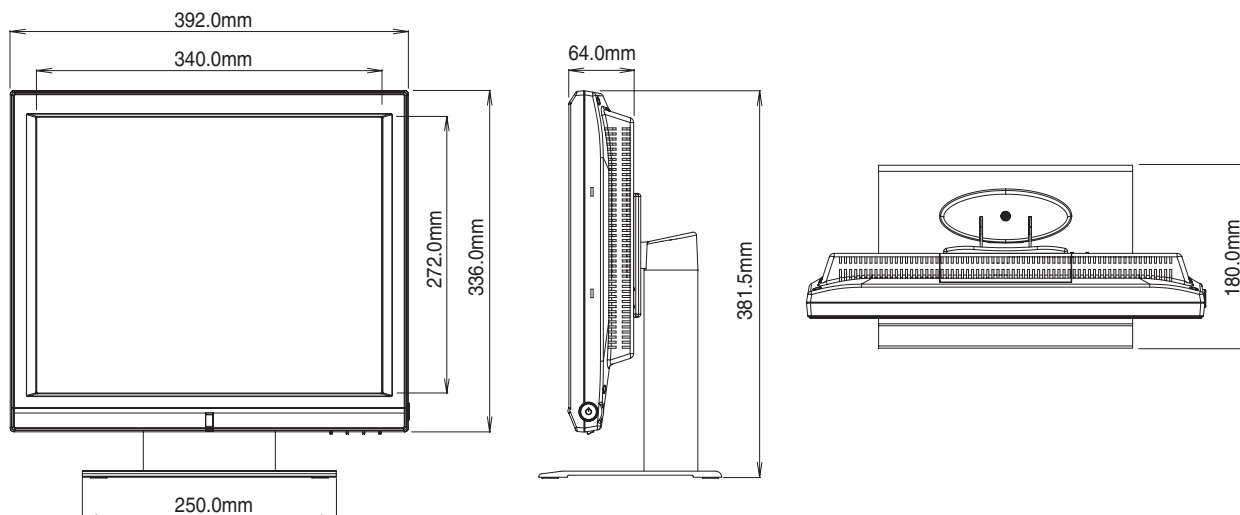
一般仕様 : ProLite T1930SR

タッチ スクリーン	方式	抵抗膜方式
	表面処理(透過率)	アンチグレア(80%)
	通信方式	USBシリアル転送またはRS-232Cシリアル転送
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角 : 48cm / 19.0"
	画素ピッチ	水平 0.294mm × 垂直 0.294mm
	輝度	240cd/m ² (タッチパネル装着時)
	コントラスト比	800 : 1 (タッチパネル装着時)
	視野角	水平160° 垂直160°
	応答速度	5ms (黒→白→黒, 標準)
最大表示色		約1670万色
走査周波数		水平 : 31.0~80.0kHz 垂直 : 60~75Hz
ドットクロック		135MHz (最大)
推奨最大解像度		1280 × 1024
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピン
		DVI-D24ピン
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応
入力同期信号		セパレート同期 : TTL, 正極性 / 負極性
入力映像信号		アナログ : 0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性
		デジタル : DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠
入力音声信号		0.7Vrms(最大)
音声入力コネクタ		φ3.5mm ステレオミニジャック
スピーカー		1W × 2(アンプ付きステレオスピーカー)
最大表示範囲		水平 : 376.3mm 垂直 : 301.1mm
入力電源		AC100-240V 50-60Hz 1.5A
消費電力		42W (最大)
		パワーマネージメントモード(VESA DPMS)時 : 2W (最大)
外形寸法		438.0 (幅) × 417.5 (高) × 180.0 (奥行) mm
重量		7.6kg
角度調節範囲		上方向90°, 下方向5°
環境条件		動作時の温度 :
		5~35°C
		保管時の温度 :
		-20~60°C
		湿度 (動作時) :
		20~80% (結露なきこと)
		湿度 (保管時) :
		10~90% (結露なきこと)
適合規格		CE, TÜV-SUD, FCC-B, UL / cUL, VCCI-B

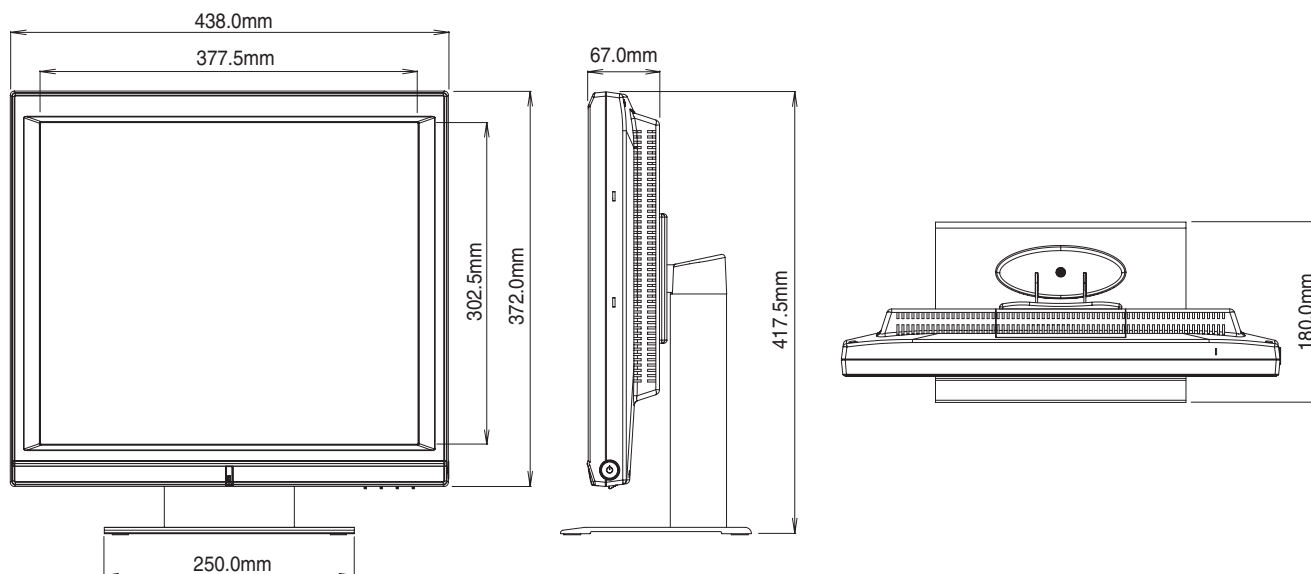
■ ProLite T1530SR



■ ProLite T1730SR



■ ProLite T1930SR



対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
	SXGA 1280×1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
		79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz
VGA TEXT	720×400 ^{*1}	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz

*2

*2

*3

補足

*1 画像の縦横比が4：3でないため、上下方向に間のびした画像になります。

*2 のタイミングはProLite T1530SRでは対応しておりません。

*3 のタイミングはDVIに対応しておりません。